

子どもからお年寄りまで

だれもが安心して暮らせる大子町に

安倍政権がくらし・福祉を削り、原発再稼働を強引にすすめる、町民に負担と不安を押しつけようとしています。だからこそ、大子町政が国の悪政の「防波堤」となって、町民の暮らしを守ることがどうしても必要です。



復旧・復興を最優先に 国会議員・県議と連携して 被災者救済に全力

昨年10月の台風19号では久慈川、押川の周辺を中心に床上、床下浸水を合わせて583棟。田畑への土砂流入・流失、農道、林道の損壊など甚大な被害を受けました。水郡線の袋田、大子間の崩落した鉄橋の再建もこれからです。

日本共産党の佐藤正弘町議は、国会議員や県議と連携して被災状況の調査・被災者の聞き取りを行い、対政府交渉の中で、一日も早い復旧・復興を求めました。引き続き最優先の課題として全力をつくします。



町議会議員
さとう まさひろ

佐藤正弘

佐藤正弘町議のプロフィール

- 1954年中郷に生まれる
- 大子一高卒業
- 森山捺染入社、神奈川労連事務局次長
- 2000年に大子に帰郷
- 大子町議3期。現在、産業建設委員長
- 趣味/読書/自然観察

1人当たりの
ため込み金
(財政調整基金)

大子町

8.5万円

水戸市

2.8万円

くらし
福祉

水戸市の3倍の 「ため込み金」は、 町民のために

少子高齢化が深刻な大子町。子どもにも、お年寄りにも寄り添い、町民だれもが安心して暮らせる町政がどうしても必要です。

町が自由に使える「ため込み金」(財政調整基金)15億円(2017年度)で1人当たり水郡線沿線(3市1町)で2番目に多く、水戸市の3倍です。この財源は、村民のくらし・福祉最優先に使い町民要求を実現します。

みなさんと力を合わせて実現めざします

- 高すぎる国民健康保険税、介護保険料、利用料の軽減
- 店舗・住宅リフォーム助成制度の充実
- 生活道路の整備と街路灯をふやし安全な町に
- 農業を守るためイノシシ対策の強化をはかる
- 子どもは町の宝。小学校新入生へのランドセルの支給

東海第2原発

再稼働ストップ! ふるさとを守ろう



福島原発事故では、大子町の観光や特産のお茶・リンゴなど農林業にも大きな被害を受けました。

東海第2原発は稼働以来40年の老朽原発ですが、会社は再稼働をめざしています。同原発から町の一部が30キロ圏内にかかる大子町。ひとたび事故が起きれば、緑豊かな大子町の暮らしも環境も守れません。

みなさんと力を合わせて、「再稼働ストップ」のために力をつくします。

アベ政権にさよなら

市民と野党の共闘で希望ある政治を
安倍政権のウソとゴマカシの
強権政治はひどくなる一方。

市民と野党の共闘で安倍政権に変わる
希望ある政治をつくりましょう。

- 新型コロナウイルスの感染拡大防止に全力つくす
- 消費税を5%に減税して景気の回復をはかる
- 憲法9条改憲ストップ。平和とくらしをまもる
 - 8時間働けば、普通にくらせる社会へ
 - ジェンダー平等社会の実現をめざそう

日本共産党

大子タイムリー

2020年2・3月号外 発行/日本共産党大子町委員会 日本共産党の見解をお知らせします。
連絡先/事務所 矢田325-9 電話 0295-76-8316 ファックス 72-3970

佐藤正弘議員の4つの値打ち

和が脅かされています。

日本共産党は地域でも党議員を先頭に国の悪政とキツパリと対決しています。佐藤正弘町議の議席は、町民の暮らしを守り、改憲許さず平和を守る議席です。

◆市民と野党の共闘を 発展させる要の議席

日本共産党は、市民と野党の共闘で安倍政権に変わる「野党連合政権」をつくろうと呼びかけています。

日本共産党の躍進と佐藤正弘町議の議席は、市民と野党の共闘を発展させる要の議席です。

